

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：にじいろ保育園中山	種別：認可保育園
代表者氏名：相原 久美	定員（利用人数）： 63名
所在地：〒226-0019 横浜市緑区中山1-17-18	
TEL：045-479-9437	ホームページ：https://www.like-kn.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2020年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：ライクキッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 14名 非常勤職員 9名
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 1名
	園長 1名 調理師 3名
	保育士 18名
施設・設備の概要	（居室数）
	（設備等）
保育室5・厨房1・休憩室1・事務室1	
防犯カメラ・バリアフリー・点字付き階段・全室エアコン完備・乳児保育室床暖房・園庭・トイレ	

③ 理念・基本方針

<p>【理念】…「 のびやかに育てだいちの芽 」 あたたかな環境の中で一人ひとりの心に寄り添い人や物・自然との豊かな出会いや体験を通して生きていく力を育てています</p> <p>【教育方針】…「みとめ愛（信頼）」「みつめ愛（安定）」「ひびき愛（共感）」</p> <p>【目指す保育園像】…陽だまりのような保育園、地域と共に育つ保育園 ・子どもと共に輝いていける保育園</p> <p>【保育目標】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自然を愛し、心身ともに健やかな子ども</li><li>・自分で考え行動し、意欲と根気のある子ども</li><li>・「仲間」と関わり人を思いやれる子ども</li><li>・自己を表現できる子ども</li></ul>
--

④ 施設・事業所の特徴的な取組

<ul style="list-style-type: none"><li>・自然豊か立地に恵まれ、四季折々の自然に触れる機会十分に設け、蝶や蚕、おたまじゃくしなどを成育活動や散歩中に見つけた草花の観察など積極的に取り組み、興味を広げ、学びにつなげ子ども達の豊かな経験になるようにしています</li><li>・ごっこ遊びに力を入れており、日常の小さなごっこ遊びから、全クラスで取り組む「芋ほりごっこ」「お買い物ごっこ」、保育の中で歌や楽器、ダンスを行い子ども達から「お客さんを呼びたい」と声があがればすぐに始まる「コンサートごっこ」、一人ひとりのやり遂げた自信につなげる「マツヒーロー会」など遊びから発展させる子ども主体の保育を取り組んでいます</li><li>・コロナ禍でも地域との交流を園庭を使用し作品を展示し、招待する取り組みや、上階の高齢者施設との作品、手紙交換なども取り組み、小学校に訪問し校庭など屋外に</li></ul>
---

て交流会などおこなっている

・職員の手作り玩具を取り入れ、子ども達の成長や興味に合わせ提供し、今年度は1冊の絵本をテーマ全クラスで製作や遊びにつなげ園全体が1つのことに取り組む活動もおこなっています

・地域支援活動として月1回子育て広場と年3回栄養士、主任保育士による子育て講座を行い、地域の方々とのコミュニケーション、子育て相談の場を作っています

・子ども達の小さな興味を学びにつなげ、自信につなげる。そして「できた」「やってみよう」「できるかもしれない」という気持ちを沢山持てる保育を大切にしています。保護者とのコミュニケーションを大切に一緒に考え一緒に共感できるようにしています

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年 6月 1日（契約日） ～ 2023年 3月 17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

**職員の連携が図られており協働し業務を遂行している**

今回の第三者評価保護者アンケートにおける保護者意見では、「職員方が何事にも柔軟に対応してくれる」「担任の職員や時短職員、経営層と沢山の人が関わって見られているのがいいと思いました」などの声が聞かれており、職員に対する評価の高さが伺える。職員間のコミュニケーションは良く、又業務遂行面では専門職との連携も図られており、協働しながら保育を行なっていることが保護者にも伝わり、園全体で「つながり保育」の実践に取り組んでいる。

**子どもの創造性や社会性、表現力が育まれるような保育を展開している**

子どもが主体的に活動ができるように様々な遊びを用意している中で、「ごっこ遊び」に特に力を入れて取り組んでいる。おままごと遊びからお店屋さんごっこに繋げていき、違うクラスの園児にも声をかけてお客さんに見立てるなど遊びを発展させ、また、幼児中心の遊びから乳児クラスも一緒に遊べるように援助することで、園児の創造性や社会性、表現力が育まれるように努めている。また、園近隣には豊かな自然が多く、植物や生物の育成を観察することによって、園児たちが気づきや命の尊さが学べる機会も多く取り入れるようにしている。

今後期待される点

**コロナ禍、および収束後の保護者対応並びに園運営が課題である**

当園は開園して3年、コロナ禍でのスタートであり、「新しい生活様式」を踏まえた園運営に取り組んでいる。感染拡大防止策の一環として登降園時は玄関先で子どもと保護者の対応を行なっている。特に降園時には子ども一人ひとりに対して、引継ぎ内容と共に一言、エピソードを話しているが、玄関先での対応であるためその場ですべて伝えられず、特に個人情報に配慮しなければならない内容は別室対応となったり、再度電話をかける等の対応もしている。保護者アンケートでも「送迎時エントランスの込み具合を解消して欲しい」、「日頃の子どもの様子をもっと伝えて欲しい」等の声が聞かれている。コロナ禍で新しい生活も踏まえながら、またコロナ収束に向けての保育についても課題とし検討していく必要がある。

**ボランティア、実習生の受け入れについて**

ボランティア、及び実習生の受け入れについては、法人作成のマニュアルを整備し受け入れ時の体制を整えている。開園3年目でありコロナ禍ということもあり、現在のところ受け入れ実績はない。今後の受け入れにむけて、取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回、にじいろ保育園中山は、初めての第三者評価を受けさせていただきました。開園3年目、コロナ禍での保育。こども達にとって、保護者様に安心安全な場所となっているのか、子ども達の成長に関わる大事な時期にしっかりとした保育が出来ているのか、全職員で日々悩み、日々振り返り、日々検討し過ぎてまいりました。今回、第三者評価を受けさせて頂いたことで、気付けなかったことに気付いたことや、一人ひとりの保育に対しての学びに多く繋がる事が出来ました。そして、保護者様の想いも多く知ることが出来たことで、今後に繋げることが出来る機会となりました。園としても、個人個人としても本当に良い学びの機会になったと感じられます。

自園はまだまだ3年目という事もあり課題も多いです。一人ひとりがその課題に向かい、今私たちが出来ること、にじいろ保育園の保育理念「のびやかに育てだいの芽」保育方針「みとめ愛 みつめ愛 ひびき愛」を念頭に安心安全な保育、子ども達が主役の保育を今後とも続けていけるように、人と人とのつながりを大切に、地域に根づき、保護者様をはじめ、ライクキッズ本社と共に子ども達の健やかな成長に必要な保育を行って参ります。沢山の学びをありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり